

コンサルテーション事業報告

事業の名称	水曜教室	事業代表者	松本 恵美
対 象	未就学児・就学児・保護者		
目的と内容	<p>① 目的</p> <p>広い意味での「社会性」の発達を目指している。ここでは、子どもたちの現在の生活や将来の生活を常に社会との関係で考え、その中で子どもたちが豊かに暮らしていくためには何が必要かということを保護者・子どもとともに探っていく。</p> <p>② 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達検査および行動観察 ・保護者支援 ・教師（保育者）への伝達 ・教師（保育者）の子どもへの関わり方の助言 		
実 施 日 および 実 施 回 数	<p>① 実施日</p> <p>第2、第4水曜日を基本とし、その他要望に合わせて対応する。</p> <p>② 実施回数または実施形態</p> <p>実施概要に報告のとおり</p>		
実 施 場 所	学内実験室		
主なスタッフ	松本 恵美（東北大学大学院教育学研究科）		人 数
	本郷 一夫（AFL 発達支援研究所）		
主なスタッフ	阿部 美里（東北大学教育学部 4年）		6名
	小山 栞奈（東北大学教育学部 4年）		
	高村 真希（東北大学教育学部 4年）		
	和田悠太郎（東北大学教育学部 4年）		

<p>スタッフの 活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の指導の下、スタッフ全員で関わったもの ① 実習オリエンテーション ② 発達アセスメント ③ 子どもの対応 ④ 課題の考察および実施 ⑤ 支援に対する評価および報告書の作成 ⑥ カンファレンスへの出席
-----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

水曜教室実施概要報告

紹介および問い合わせのあった3組について4回実施した。実施時間は2～3時間程度であった。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、水曜教室の開始時期が遅れ、実施回数が少なかった。来年度はオンラインでの実施なども検討し、より多く相談を受けていきたいと考える。

今年度の、水曜教室の実施概要を以下に示す。

月	ケース	来談者	保護者との面接内容	本児との かかわり
5~8	再来	母親	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本児の行動特徴や発達理解に関する助言 ・ 日常の接し方や今後の発達を促す対応についての助言 (メールにて何度かやり取りをする中で助言を行った。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なし
9	初来	本児 母親	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本児の行動特徴や発達に関する助言 ・ 日常の接し方や今後の発達を促す対応についての助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知能検査 (WISC-IV) ・ 行動観察
11	再来	本児 母親 父親	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本児の行動特徴や発達理解に関する助言 ・ 日常の接し方や今後の発達を促す対応についての助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知能検査 (DN-CAS) ・ 行動観察

12	再来	母親	<ul style="list-style-type: none">・ 本児の行動特徴や発達理解に関する助言・ 日常の接し方や今後の発達を促す対応についての助言	なし
----	----	----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	----